海蔵地区同推協だより

№３　平成６年７月11日発行

平成６年度はじめにあたりご挨拶

「前　　進」　　会　　長　　米川　章

海蔵地区の皆様、平素は同推協の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本年度は、従来よりいっそう組織を充実し、活発な活動が展開されるよう、運営部・研修部・広報部の三専門部を設け、各部長は役員として、同推協運営の一端を担っていただくことになりました。また今年度は、「一人ひとりが大切にされる明るい町づくりのため、アンケート結果に基づいた啓発活動を進める」を基本方針に諸活動を計画実施していきたいと考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、一昨年秋、ご協力いただきました人権同和問題アンケートの結果がまとまり、今年三月末に報告書が完成しました。関係各位・機関にはすでに送付済みですが、皆様にはセンターだより等を通じて随時お知らせしていく予定ですので、ご覧になった上、人権同和問題を考える上での参考にしていただければ幸いです。

運営部長　　溝脇勝義

海蔵地区に同和教育推進協議会が発足してからまだ日が浅いのと、地区に隣接する部落等がない関係で余り一般に同和問題に関心の無い人がまだまだ多いと思いますが、今は関係なくても何時か関係ある事に出会わすかも知れません。また部落等の問題以外男女差別、身体障害者差別等種々差別があります。今までは無関心であった人もこれからは一人でも多くこの問題に対して深く考えてみようではありませんか。

「昨今の家庭に思うこと」　　研修部長　　加藤尚治

私が小学生の時、校長先生のお話の中に何々らしく、何々ぶらない生き方をと云う言葉が今でも思い出されます。誠に平易な言葉ですが実践することはなかなかむつかしいことです。家庭にあっては男は父親として女は母親としての持ち場、立場があり決して同質ではないと思います。特に男親の在り方は家庭の柱としてもう少し毅然とした態度が必要ではないでしょうか。これは決して男女差別ではないと思います。

広報部長　　宮田　豊

海蔵地区の皆様の、ご理解と同推協役員及び委員の方々のご尽力により、同和問題に対する意識が高まってきました事、お慶び申し上げます。

今年度より、専門部会に於いてきめ細かな運動を推進する事となりました。広報部は、「地域の皆様と同推協を繋ぐ重要な組織」と思います。

この度、広報部の任につきました。微力ながら差別偏見のない　社会を目指して努力致します。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成６年度役員紹介

会　　長	米川　章	みゆきケ丘二丁目	31-1609
副　会　長	片岡博一	東阿倉川一区	31-3604
〃	池田　昭	東阿倉川一区	31-2840
書　　記	近藤好仁	阿倉川町	31-4062
会　　計	渡辺昇衛	万古町	32-2288
運営部長	溝脇勝義	西阿倉川三区	31-0177
研修部長	加藤尚治	三ツ谷東町・南区	31-4768
広報部長	宮田　豊	東阿倉川二区	31-6905

平成６年度行事予定

７月	委員研修会　（７／７）
７～８月	町別懇談会
８月	四日市同和教育研究大会へ参加　（８／21）
９月	委員研修会
10月	第三回人権の集い　（10／７）
10月	三重県同和教育研究大会へ参加（熊野市）
11月	神前地区同推協との交流

◎地区全員の皆様にご参加いただくのは、町別懇談会と人権の集いの２回だけです。ご案内次第、ぜひご参加下さるようお願い致します。

おしらせ

センター内の海蔵文庫に「人権コーナー」ができました。ぜひご利用下さい。開館は、水・土曜 1時～4時

海蔵地区同推協だよりの愛称を公募しています。親しみやすい愛称をよろしくお願いします。
海蔵地区市民センター内事務局迄